

第4回

美しい日本語の朗読 感声

指導員養成・人材育成に積極的に貢献致しております。
 そして感声ボイストレーニングで障害と言われる方や高齢者の社会活躍に尽力致しております。機能回復・介護予防につきましましては千葉県社会福祉協議会主催で十一月十二日(土)に医学博士 吉田昭彦先生の講演とあわせて訓練方法の実践指導研修をさせていただきます。
 多くの機会を通じて、感動を皆様と共感出来ますことを心より嬉しく存じております。
 私達をお導き下さいました諸先生方をはじめ御支援・御協力頂きました皆様に心より感謝申し上げます。



御挨拶

特定非営利活動法人感声アイモ理事長

木村 紀子

感声アイモは環境・福祉・教育はひとつをモットーに実践を重ねて参りました。毎日、明るく、元気に美しい日本語を話すことで健康で楽しいコミュニケーションを実践して頂き、さらに日本の伝統文化を大切に継承し、古典の語りや朗読の出来る

船橋市勤労市民センターホール

平成17年10月1日(土)

開演 午後2時・5時 入場無料

撮影 羽生 清

主催 特定非営利活動法人 感声アイモ 特定非営利活動法人 都市環境研究会

後援 船橋市 船橋市社会福祉協議会
協賛 船橋市教育委員会 株式会社こめつつじ

協力 NPO法人BPA(ビプラン・アソシエイツ)
鎌ヶ谷市NPO連絡協議会・感性教育蘭の會

朱鷺(トキ)の蘇生と生命の大切さ

吉田昭彦 (医学博士・環境カウンセラー)



朱鷺はコウノトリ目に属し、その学名はニッポニア・ニッポン。学名から言うに朱鷺は「国鳥」である。

その「国鳥」を私たち日本人は絶滅させてしまった。また、コウノトリも日本から姿を消した。朱鷺やコウノトリは食物連鎖による分類上では最上位に位置し、水域に生息するドジョウ・フナ・カエルそして時にはトカゲや小さなヘビ等を日々の常食とする。この水域生物の常食が絶滅させた最大の要因であり戦後の農業や化学肥料の大量投与による農業や安易な洗剤使用による生活様式等が日本の内陸水系の生態系を激変させ、かつてこの田んぼでも見られたギンヤンマ等は、今では希少動物となりつつある。

絶滅要因は大きく分けて2つあり、第1は水域生態系におけるドジョウ・フナ・カエル等のバイオマスの激減であり、第2は農業や化学肥料中の残留農薬の生体濃縮である。つまり、朱鷺とコウノトリは食べるものが少なくなり、食べたものに含まれていた有害化学物質の大量の体内蓄積により生殖不能に陥り、絶滅に至ったのである。朱鷺やコウノトリの絶滅を「単なる絶滅」の問題に止めてはならない。朱鷺やコウノトリが「なぜ、絶滅したか」について問うことは私たち日本人には極めて重要な問題である。

有害化学物質の自然界への排出量は漸減傾向にはあるものの、今なお大量排出は続いている。そしてその影響を最も強く受けるのは水域生態系である。千葉県は海に囲まれ、霞ヶ浦、印旛沼、手賀沼等の水辺も多くあるがそれらの多くはかつて見られた自然ではない。しかし、暗い見通しだけではなく、明るい見通しもある。印旛沼での研究結果からは、水域生態系の再生と水質浄化の同時実施が可能となり、朱鷺やコウノトリの野生化に道が開かれた。今こそ、レイチエル・カーソンの『沈黙の春』の警告を朱鷺やコウノトリの再生を通して、後世に語りかけるべき「トキ」が来たと考えている。

プログラム

開演 午後2時・5時

講演 吉田昭彦

「沈黙の春」レイチエルカーソンより 菅原 三記

朗読

おとぎひめ (語り)

流されてきたオオカミ 松谷みよ子



菅原 三記 (画家・朗読家)

五重塔 幸田 露伴

木村 紀子 (感声アイモ理事長)

北越雪譜より 雪吹 鈴木 牧之

川嶋 徳人 (ひまわり通信編集長)

奥の細道 松尾 芭蕉

雨二モ負ケズ 宮沢 賢治

発声指導 感声アイモ指導員

響け環境太鼓

特別出演

和太鼓の会

「鼓遊」

代表顧問 高橋 進

鼓遊頭 木崎 充教

鼓遊代表 窪山 庄一



東京新潟県人会 常務理事
台東新潟県人会 会長

関崎 千里
(南魚沼市塩沢出身)

〒111-0032 台東区浅草5-46-8
☎03-3873-0497

橋本 誠行
(柏崎市出身)

(事) 中央区銀座8-12-13 豊川ビル
TEL 03-3543-5095
E-mail ginza-ao@poppy.ocn.ne.jp

(自) 調布市緑が丘1-37-71
E-mail seikou@nto.biglobe.ne.jp

有限会社 **アリス高**

代表取締役社長
高橋和子

(株)マツバラ 取締役 高橋和子
本社 〒106-0044 東京都港区赤坂9-29-3
TEL 03-3328-3055
FAX 03-3328-4881

第1種利用運送業 開自取第518

有限会社 **近江商事**

代表取締役 松本修二

〒135-0062
東京都江東区東雲2丁目4番1号
TEL・FAX 03(3529)1537

晴天時の昼間はご家庭で使う
電気をまがないます

IK KARASHI 五十嵐建設工業

代表取締役 五十嵐 賢

〒273-0123 千葉県鎌ヶ谷市南初富1-24-30
フリーダイヤル:0120-46-2807
TEL 047-446-2807 FAX 047-446-8143
E-mail:karashi-kensetsu@jcom.home.ne.jp

創発居酒屋 **火陣**

鎌ヶ谷市南初富2-9-47 ☎ 11時30分~14時(予約)
毎週月曜日 17時~23時30時
☎047(445)2146 スタッフ募集中

鎌ヶ谷市NPO連絡協議会

特定非営利活動法人 ありのみの会・感声アイモ・きらら
花と公演通りの会・青空の会・鎌ヶ谷にぎ愛広場
かまがや地域情報の窓・鎌ヶ谷たすけあいの会

〒273-0123 鎌ヶ谷市南初富1-24-36
TEL 047-446-2804 FAX 047-446-8143



サンアロー化成株式会社

自然と企業の共生

携帯電話のキーシートを世界のユーザーへ



当社で製造している代表的なキーシート

サンアロー化成株式会社は、日本海に浮かぶ、佐渡ヶ島にあります。当社は、携帯電話用キーシートやモバイル端末機用薄型キーパッドの製造をしています。

社訓である『速く、激しく(情熱をもって)、正確に』をモットーに社会へ貢献する企業を目指し、技術の積み重ねをもとに顧客満足度を高め、よりよい製品づくりにチャレンジしています。お客様は、国内はもとより海外からも大勢の方がいらっしやいます。

進化を続けるマルチメディア。今後成長が期待される携帯電話・モバイル機器市場において当社のハイブリッド技術が、新規製品の研究開発・実用化に貢献しています。

世界の最先端を走るモバイルの分野で佐渡から世界へ発信する「グローバル・カンパニー」を目指しています。

二〇〇九年九月、品質保証及び品質システムに関する国際規格「ISO9001」を認証取得。二〇〇四年十二月、環境マネジメントシステム「ISO14001」を認証取得。

「地球にやさしい環境保全」を認識し、豊かな自然環境の佐渡島内に立地している企業として、環境保全に配慮した活動を行って行きます。あなたも「とき」が舞う佐渡の空の下で、チャレンジしてみませんか。

■本社工場
〒952-0212
新潟県佐渡市宮川837-1
TEL 0259-66-2462
FAX 0259-81-1000



株式会社北雪酒造
〒952-0706
新潟県佐渡市徳和2377番地2
TEL 0259 (87) 3105
FAX 0259 (87) 3173

限定
大吟醸
大吟醸 YK35 牽酒
チタンゴールド容器



安食文化学園
書道 絵画
毎週水曜日 第2・第4日曜日
詳しいことは沼南文化学園まで
☎ 04-7191-5192

有限会社 しみず薬局
清水 保佑
本店
〒273-0001 千葉県船橋市市場4-12-8
TEL 047(424)2486 FAX 047(425)1563
千葉店
〒267-0066 千葉県千葉市緑区あざみが丘1-23-7
TEL・FAX 043(294)5532
URL <http://www.11soudan.jp/>
<http://www.rakuten.co.jp/sibi/>
E-mail sibi@11soudan.jp

株式会社 太平丸 代表取締役
大野一敏
〒273-0011 千葉県船橋市湊町1-14-17
Kazutoshi Ohno
Head Office: No. 1-14-17, Minatocho, Funabashi-City, Chiba, Japan. 〒273-0011
TEL. (0474) 31-5830
FAX. (0474) 31-4799

柴崎三郎
〒277-0064 柏市東山2-10-20
☎ 04-7172-7146

御支援・御協力頂き
心より感謝致します
企画 木村紀子
演出 菅原三記
写真・ビデオ撮影 高橋進
協力 新潟県佐渡地域振興局
NPO法人グローバルネットワーク
印刷 (株)デイトウイン
(株)ヤマダエヌ
特定非営利活動法人 感声アイモ
〒273-0011
千葉県鎌ヶ谷市東中央二の二四の二六
マロンドセブン中央三〇三
☎〇四七四四二七三
☎〇四七四四二七三
FAX 〇四七四四二七三
E-mail arno@digibros.co.jp

仲村泰人
KEEP HER STEADY!
YASUTO & KAYAKURA

無量山 傳通院 墓苑ご案内!
(東京都小石川3丁目)
お問い合わせは・・・
御用達・指定石材店
一向堂 (副ヤマト石材)
〒112-0003 東京都文京区春日1-12-6/パーク白木1F
【お問合わせとお申し込み】
☎0120-41-2263

一級建築士事務所
株式会社 **コア設計**
代表取締役 **田中 実**
一級建築士・防火対象物点検資格者
〒171-0014
東京都豊島区池袋4-34-6本間ビル2F
TEL 03-5911-6677 FAX 03-5911-6688

平成17年11月末日まで有効

刺身盛込
半額サービス券
大庄グループ
営業企画推進室

合言葉は「はい!よろこんで」

庄や やるき茶屋 日本海庄や



8月8日は「親に感謝する日」
大庄グループでは、親に感謝する日を8月8日(誕生日合わせですが、母・パパと読みます)とし、国民の祝日に制定しようという運動を推し進めており、「署名運動」を行っています。
大庄グループ各社に署名用紙をご用意しております。詳しくは各社のものに、お電話にお尋ねください。

写真は庄や5,000円込々コース(4人前)です。

《大庄からのメッセージ》

日本では食卓を囲んで同じ料理を分け合って食べる「一物共食」が家族の食事のあり方でした。仲間同士で同じ釜の飯を食べるのと同じで、何かを成し遂げるためのベクトルが非常に合いやすい。食物のDNAを共有することで、仲間や家族間の絆が深まるのです。

家族そろっての食事は簇の場でした。

食べ物やお百姓さん、漁師さんなどの生産者にそして自然に感謝する心が育っていきました。

しかし、核家族化や共稼ぎ、子供の塾通いなどにより家族が食卓を囲むことが少なくなり、別々に食事をする「個食」や「弧食」が当たり前のようになっています。親から500円玉を渡され、ファストフード、ジャンクフードが食事代わりの毎日といった子供たちが多くいます。

生まれたら人工ミルクに工業製品の離乳食、外食やコンビニ弁当で「個室」に「個食」では、感謝の心は育ちません。まず、週に一度でもいいから、家族一緒にお母さんの手作りの料理を囲んで食べる。その回数が増えるにつれ、家族の絆、感謝を知る心が芽生え、豊かで健やかな心を持った人格が育つのです。

◎サービス券は下記店舗でご利用になれます。お会計時にお渡し下さいませ。



庄や 鎌ヶ谷東口店	千葉県鎌ヶ谷市道野辺本町1-2-53 サンイースト1-2	047-445-7471	日本海庄や 津田沼バルコ店	千葉県船橋市前原西2-18-1 津田沼バルコA館6階	047-474-8971
庄や 津田沼南口店	千葉県習志野市谷津7-8-1 アーバンビル 4階	047-474-6871	日本海庄や 船橋南口店	千葉県船橋市本町1-3-1 船橋Faceビル地下1階	047-421-4201
やるき茶屋 津田沼南口店	千葉県習志野市谷津7-9-16 元ビル2階	047-474-9931	日本海庄や 東船橋南口店	千葉県船橋市東船橋4-32-2 エバークリーン東船橋1階	047-423-1761

株式会社 **大庄** 〒140-0013 東京都品川区南大井6-28-12 **ご宴会** 0120-408-959・0120-408-469 **リ-ダイヤル**
受付時間 平日/AM11:00~PM7:00 日・祝日/PM1:00~PM5:00
<http://www.daisyo.co.jp/>